

授業科目名	栄養	担当者	中司 純子
単位	—		
時間数	36時間	学年	1学年
授業形態	講義	開講時期	前期
授業の到達目標	生存するために必要な栄養とその働き、また栄養素の消化・吸収・代謝について学び、疾患による栄養補給の特徴について理解する。		
授業の概要	食生活は、看護の対象となる人々の日常生活ならびに生命維持活動の根幹に位置するものである。人間にとって栄養の意義と健康な生活を営むための適正な栄養、食事の摂り方について学ぶ。		
授業計画	<p>第1章 栄養・食生活と看護</p> <p>第2章 栄養素の種類とはたらき ・タンパク質/脂質/糖質/食物繊維/ビタミン/ミネラル/水</p> <p>第3章 栄養素の消化・吸収・代謝 ・消化器系の機能 ・食物摂取と消化・吸収・代謝</p> <p>第4章 エネルギーの摂取と消費 ・食品、体内のエネルギーとエネルギー消費</p> <p>第5章 病院食 ・概要/医療と食事</p> <p>第6章 栄養食事療法 ・循環器疾患の栄養食事療法 ・消化器疾患の栄養食事療法 ・腎臓疾患の栄養食事療法 ・栄養・代謝疾患の栄養食事療法 ・その他の栄養食事療法</p> <p>第7章 特殊栄養法 ・経腸栄養法と静脈栄養法</p> <p>第8章 日本人の食事摂取基準</p>		
テキスト	新看護学2 栄養 薬理 医学書院		
評価の方法・基準	筆記試験(100点)		